



高農金 同窓会新聞

第33号

秋田県立
金足農高等学校
同窓会発行
〒010-0126
秋田市金足追分
字海老穴102の4
☎018-873-3311
FAX 018-873-3313
株式会社 八郎海印刷
☎018-875-4005



金農同窓は地域の要

同窓会会長 高橋 浩人

稲の勢いが増す頃、金足農高同窓会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年、金農生は大いに活躍いたしました。農業クラブの全国大会での最優秀賞受賞、高校総体では相撲部が団体優勝し、ボクシング、柔道、ウエイトリフティング、弓道、スノーボードと個人優勝しました。また、野球部は春の甲子園予選大会で見事優勝しましたが、東北大会では惜しくも負けて甲子園出場は叶いませんでした。今年の夏の大会に期待したいと思います。また、卒業生は就職や進学でも良い結果を残し、今後、同窓としての活躍を願っております。そして、本年の入学式では定員割れすること無く、新入生を迎え入れることができました。工藤校長先生始め、先生の皆様が生徒募集に取り組みで頂いた結果と感謝しております。

三月の県議会で、秋田県立大学の附属高校設置について取り上げられました。

工藤嘉範県議の一般質問でありましたが、県立大学は農学部と工学部があり、金農と由利工業を附属高校化して高大連携の充実した教育拠点にし、県外からも生徒を受け入れるようにしてはどうか、という内容でした。県では、今後研究していくとの答弁でありましたが、同窓会としても引き続き県議と連携を図りながら、県に働きかけていきたいと思っております。

同窓においても、井川町と五城目町の議会議員選挙



創立九十六周年を迎えて

校長 工藤 雅文

同窓会会員の皆様には、日ごろから母校愛と平素の学校に対するご理解、ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、ここ可美しき郷も新たな命の芽吹きを感じさせる春の季節を迎え、四月八日には入学式を挙行し、新入生百七十五名が元気に胸を張って入学しました。おかげさまで、今年も四年ぶりに定員を満了することができました。農業教育の中心校として、地域に根ざしながらも、特色ある農業教育を実践してきていることが、県民や地域、中学校から評価されているのではないかと嬉しく思っています。

学校の近況としては、昨年度的全県総体では、ウエイトが学校対抗で二十八連覇を果たし、相撲が十二年

ぶりの団体優勝、柔道、ボクシング、弓道の五つの部が全国総体であるインタハイに出場しております。これにラグビー、陸上部を加えて七つの部が東北総体に出場しました。新人戦では野球部が二十六年ぶりに全県優勝、東北大会でもベスト8と健闘しました。陸上部が六年ぶりに駅伝の東北大会に出場しました。また相撲は、この三月の全国選抜大会でも五位となり、スपोर्टス金農を県内外に大いに知らしめてくれました。

そして、新聞部も全県新聞コンクールで優秀賞を獲得し、全国高校文化祭への出場を果たし、また農業教育の根幹である農業クラブでも、農業鑑定競技会の全国大会で本校二十五年度振りの最優秀賞に輝き、金農の

校長先生からは母校の近況報告として、創立百周年記念事業や部活動などのお言葉をいただき、新校舎や学びの場、野球場、部室の整備など、より良い教育環境の整備や後輩達の活躍に期待し、喜んでいく所です。当会としても、少しでも多くの後輩が県職員を目指していただくよう、より県民への幅広く密着した行政サービスに力を入れ、PRすることの魅力伝えていきたいと思っております。

存在価値と専門性を大いに高めてくれました。また、卒業した三年生の進路は、進学では、帯広畜産大学に一名、福島大学に一名、秋田大学に一名、秋田県立大学に一名、秋田公立美術大学に一名の合計九名が、国公立大学に合格し、また難関であった私立大学にも数名合格しております。就職でも、公務員は行政では秋田県庁・男鹿市・五城目町に各一名、技術系では国家公務員に三名、秋田県庁に二名、秋田市・由利本荘市・仙台市に各一名、その他秋田県警に三名、五城目消防に一名、自衛隊に一名の十七名が合格し、進学も就職も含めて、色々な意味で専門分野の力を発揮しております。

本校は秋田県の中心校として、色々な意味で、背負うものも大きく、また地域や県民の皆様から期待されていますが、同窓会の皆様から見て、より魅力的な農業高校となるように頑張らねばと思っております。そして百周年に向け「サキホコレ金農プロジェクト」のもと金農が咲き誇れるよう努力して参ります。

今後も本校の発展・充実には、同窓会の皆様の叱咤激励や、お力添えが必要であります。今後とも、本校に対するご支援、ご協力をよろしくお願いたします。同窓会のみならず、ご発展と会員の皆様のご健勝を祈念して、金農の近況報告とします。

支部だより

秋田県職員雄心会

令和五年度会長 鈴木 勇一

当会は、秋田県職員の金農同窓生をもって組織し、会員相互の親睦を図ることを目的とし、昭和三十六年に発足、本年度で六十六年目を迎える歴史のある会です。

発足当初の会員数は不明ですが、昭和五十三年のピーク時は三百六十一



令和6年度 同窓会一般会計予算書(案)

令和6年5月17日

収入総額 3,115,000円
支出総額 3,115,000円
差引残額 0円

収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較(増減), 摘要. Rows include 会費(在校生), 会費(卒業生), 繰越金, 寄付金, 繰入金, 雑収入, 合計.

支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較(増減), 摘要. Rows include 総務費, 旅費, 消耗品費, 通信費, 手数料, 会議費, 役員会議費, 総会会議費, 事業費, 母校事業費, 母校充実助成費, 卒業記念品代, 支部活動充実費, 海外研修補助, 同窓会報発行費, 名簿整備費, 総会事業費, 事務局整備費, 基本積立金, 慶弔費, 雑費・広告費, 予備費, 合計.

令和5年度 同窓会一般会計決算書

令和6年6月17日

収入総額 3,003,834円
支出総額 2,103,078円
差引残額 900,756円

収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 比較(増減), 摘要. Rows include 会費(在校生), 会費(卒業生), 繰越金, 繰入金, 寄付金, 雑収入, 合計.

支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 比較(増減), 摘要. Rows include 事務費, 旅費, 消耗品費, 通信費, 手数料, 会議費, 役員会議費, 総会会議費, 事業費, 母校事業費, 母校充実助成費, 卒業記念品代, 支部活動充実費, 海外研修補助, 同窓会報発行費, 名簿整備費, 事務局整備費, 総会事業費, 基本積立金, 慶弔費, 雑費・広告費, 予備費, 合計.

Table with 5 columns: 日付, 内容. Rows include 6月29日 各支部総会開催, 6月上旬 同窓会新聞33号発行, 5月17日 同窓会役員会, 5月14日 会計監査, 4月22日 学校創立記念講話伊藤巧一氏.

令和六年度 事業計画(案)

Table with 12 columns: 日付, 内容. Rows include 3月22日 総会, 2月22日 大潟支部総会, 1月26日 秋田県職員雄心総会, 1月12日 芽会総会, 10月7日 東京同窓会総会, 8月20日 尾川親方講演会, 6月20日 発行, 5月26日 同窓会役員会, 5月15日 会計監査, 4月22日 学校創立記念講話原田貴行氏.

本部・支部事業

令和五年度 会務報告

部活動紹介

ラグビー部

部長 鈴木 満

金足農業高校ラグビー部は、全国高等学校ラグビーフットボール大会いわゆる花園出場六回、全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会一回出場しています。現在、部員は三年生十三名、二年生十二名(うち女子マネージャー三名)、一年生十三名(うち女子マネージャー一名)です。花園出場を目標に練習に励んでいます。

昨年度の成績は、東北総合体育大会で五年ぶりにII部優勝、七人制ラグビー秋田県予選は初の準優勝、中央支部及び全県総合体育大会は三位でした。花園出場を目指した県予選は、準決勝で秋田



工業高校に健闘及ばず0-24で敗れました。新チームにかわり、全県新人大会三位、東北新人大会で四年ぶりのII部優勝を果たしました。今年度の春の目標は、秋田県で開催される東北総合体育大会I部出場です。



す。そのためには、六月に開催される全県総体で決勝進出が条件です。ラグビー部の応援をよろしくお願いします。

相撲部

部長 浅沼 宏明

金足農業高校相撲部は創部七十五年目を迎える伝統ある部活動です。「堅忍不拔」を部訓とし、揺るぎない信念で厳しい稽古に耐え、心を鍛え人間力の向上を目指しております。



これまでに全県総体では三十五回の優勝を誇り、古くは昭和二十九年にインターハイで団体三位入賞をはじめ、昭和五十三年には優勝、昭和五十七年準優勝、昭和五十九年には五位入賞を果たしています。また、近年では元大相撲力士の豪風(現押尾川親方)を排出、平成十八年全国高等学校相撲新人選手権大会個人準優勝、同年全国選抜前大会、十和田大会団体ベス

ト8、平成十九年・二十年全国選抜前大会団体ベスト8入賞を果たしています。昨年度は、十二年振りに全県総体で団体優勝しインターハイ出場、全国選抜大会でも団体で出場しベスト8進出(五位入賞)を果たしました。今年度は小林晃監督(農業土木科、平成三年度卒)が再び母校に赴任し、選手が一年生二名、二年生五名、三年生四名とマネージャーが二名の計十三名と全国大会での活躍を目指して活動しております。また、それを支える指導スタッフは鈴木康記氏(男鹿市商工会)、安田千斗氏(食品流通科、平成二十年度卒)がコーチとして、また金農相撲部OB会長の伊藤功氏

(農業土木科、昭和六十年年度卒)をはじめとする多くの本校相撲部OBが大勢稽古場へきていただき技術力・精神力を熱心に指導していただいております。また、今年度から秋田県スポーツ協会から「テクニカルアドバイザー」(国民スポーツ大会において天皇杯・皇后杯得点の獲得を目指すほか、指導による本県選手強化・育成の促進を図る目的で採用された、選手兼指導者の方)として平野颯人さん(中央大学卒)が平日の稽古をみまわっています。このメンバーで良い結果を同窓会のみならずにお届けできるよう、チーム一丸となって頑張っていきたいと思えます。

令和五年度卒業生の進路状況について

進路指導部 佐藤 和悦

1 進路概況

令和五年度の卒業生は、百六十四名(男子八十六名、女子七十八名)で、そのうち就職者は八十二名(男子四十九名、女子三十三名)と全体の五〇%で、昨年度と同様、進学者数七十九名(男子三十四名、女子四十五名)を上回りました。県内就職者は、六十七名(男子三十八名、女子二十九名)で就職者の八一・七%となり、昨年よりも5ポイントほどの減少となりました。未だに高い水準ですが、コロナ禍の収束化により県外就職が少し増加に転じました。

2 就職状況

令和五年度は、インフルエンザ感染者が増加傾向になったこともあり、一部企業への応募書類郵送に影響が出ましたが、応募企業との連携により大きな問題にならず、予定通り九月一六日以降の採用試験となりました。本校生徒の通勤可能範囲の求人票件数は、四年度を若干上回り、依然として売り手市場で、最初の採用試験での内定率は九三・四%(前年八二・八)と好調でした。その他の生徒も二月までには内定をいただくことができました。

3 進学状況

進学者の内訳は、四年制大学二十七名(男子十六名、女子十一名)、短大九名(男子三名、女子六名)、専門学校四十三名(男子十五名、女子二十八名)となっています。公立大学では、昨年の合格者七名が全員秋田県立大学への合格であったのに対して、令和五年度は帯広畜産大学、福島大学、秋田公立美術大学への合格もあり九名の進学となりました。視野を広げて果敢に挑戦した成果が現れたと言えるでしょう。

4 終わりに

令和六年度に入り、国際的には依然としてウクライナ問題が尾を引いており、自然災害、物価高等、先行きの不安な状態が続いております。このような時こそ「雑草魂」で乗り越えてゆきたいものです。同窓生の皆様にも是非ご支援をいただき、チーム金農体制で社会に貢献できる人材の育成に努めていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

学校創立
記念講話



令和六年四月二十日(土)に母校で学校創立記念講話が開催されました。講師は、昭和五十四年三月園芸科卒の伊藤巧一氏です。講演題である「失敗を恐れず、成功の原点は行動」は、伊藤氏の現在に至るまでの経歴を現したものです。講演では、在学中ラグビー部で鍛えられた経験を踏まえ、数々のエピソードを紹介していただきました。現在、秋田市議会議員5期目、議会では市民の代表として市政に市民の要望を反映させるために頑張っています。一方、同窓生として本校の部活動支援と就職支援、校舎改築および本校の将来構想構築に関しての指導、助言を数多く頂いております。

生徒は、伊藤氏のこれまでの経歴や活躍の内容に接し、金農生として大いに感銘を受けたと思われます。「失敗を恐れず行動する」ことを胸に、それぞれの目標に向けて勉学や部活動に取り組んでいます。

令和6年度

「同窓会」会費納入のお願い

会費につきましては、同窓会の運営や同窓会の目的でもある農業教育の振興や母校発展に寄与するため運営資金として活用させていただいております。会員の皆様には、母校の同窓会活動へのご理解とご協力をお願いするとともに会費の納入をお願いいたします。

- 1 年会費2,000円
- 2 同封した振込用紙にて納入願います。

100周年に向けての取組

「金農米を使った日本酒作りプロジェクト」が
始動しました

八峰町の山本酒造店様の協力をいただき、昨年の10月から金農産あきたこまち100%を使った純米酒が今春4月25日にできました。初年度でもあり、出来上がった数量は200本程度です。同窓の皆様には個別にお分けすることができませんが、6月29日の総会でお披露目と若干ではあります。試飲も予定しております。100周年に向け、より良い日本酒の味を探求し、次年度以降も本プロジェクトを推進する予定です。



編集後記

皆様のご協力により、同窓会新聞第三十三号を発行することができましたことに寄稿された皆様に感謝申し上げます。

母校は、令和六年で創立九十六周年を迎えました。この間、二万名を超える卒業生(令和六年三月卒業で総数二万三千九百四十五名)を輩出してあります。校舎改築工事は、この春から本格的に着手され、野球場部室の建

設から始まりです。農場には、建設業者のプレハブが設置され、新野球場建設予定地には縄張りが施され、農場の風景も大きく変化をしてきました。同窓の皆様には、機会があればその様子を見ていただければ幸いです。

最後に、会員の皆様におかれましては、ますますのご健勝を祈念し、発行のご挨拶とさせていただきます。

同窓会事務局
平沢 隆志

令和6年度

同窓会総会のご案内

令和6年度同窓会総会を次のとおり開催します。同級・同期や先輩・後輩等お誘い合わせの上、多くの会員の出席を心よりお待ちしております。

- 1 開催日 令和6年6月29日(土)
- 2 会場 ANAクラウンプラザホテル秋田
- 3 内容予定

- (1) 総会 午後3時から
- (2) 懇親会 午後4時から(会費7,000円)
金農米で作った日本酒のお披露目と試飲をします。

4 当番幹事

次の年度の卒業生は、総会と懇親会の運営にお手伝いください。
昭和59年3月卒業・平成6年3月卒業・平成16年3月卒業・平成26年3月卒業の各科代表

5 問い合わせ

秋田県立金足農業高等学校 同窓会事務局
(担当:平沢隆志)

TEL 018-873-3311 FAX 018-873-3313

*出席される方は、返信用ハガキに必要事項記載の上、6月21日(金)までご返信願います。

当番幹事について (連絡・お願い)

当番幹事(生徒会・農業クラブ役員経験者、各学科代表、部活動代表他)の皆さんで総会と懇親会の準備と運営を行います。時期が来ましたら、打ち合わせを行いますのでよろしく願います。

令和7年	昭和60年 3月卒業	平成7年 3月卒業	平成17年 3月卒業	平成27年 3月卒業
令和8年	昭和61年 3月卒業	平成8年 3月卒業	平成18年 3月卒業	平成28年 3月卒業
令和9年	昭和62年 3月卒業	平成9年 3月卒業	平成19年 3月卒業	平成29年 3月卒業